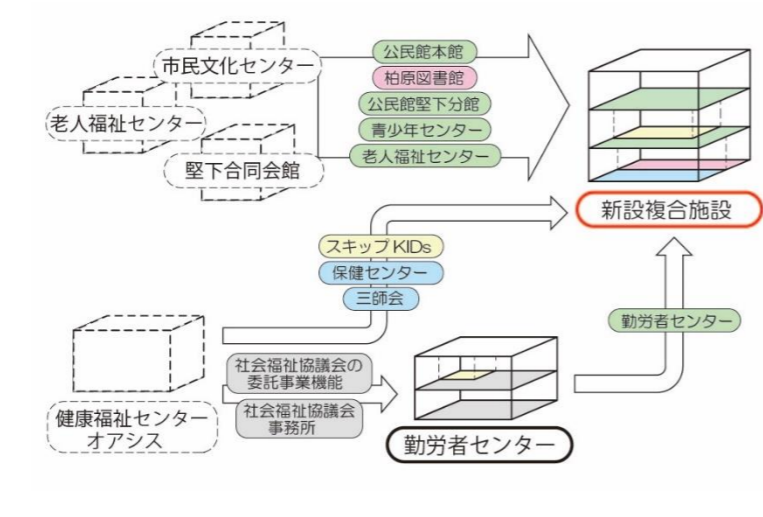
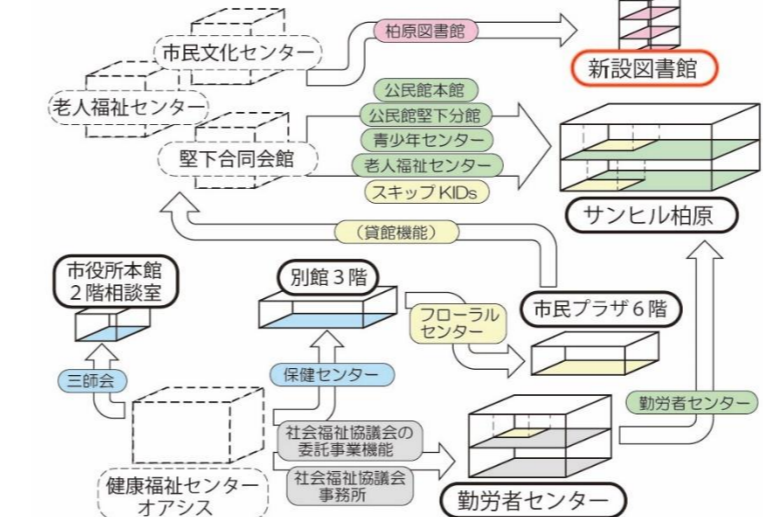
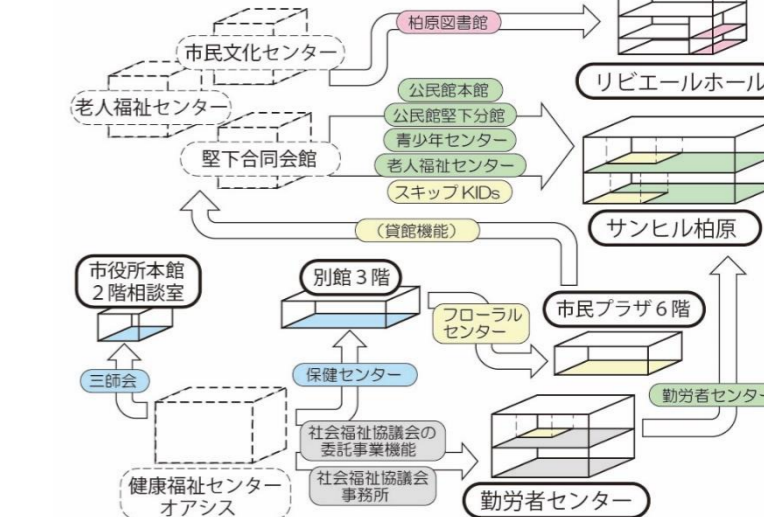


項目		(案-1) 複合施設新設案	(案-2) 図書館新設案	(案-3) 既存施設活用案
再編のイメージ				
評価項目	コスト	事業費 (千円) : 4,918,308 △	事業費 (千円) : 2,138,733 ○	事業費 (千円) : 1,933,163 ◎
	公共施設削減量	2,635.69 m ² △	8,797.69 m ² ○	9,763.69 m ² ◎
	スケジュール	・健康福祉センターオアシスの借地期限(2027年5月)までに施設を除却するため、勤労者センターの改修→社会福祉協議会の移転を前倒しで実施する必要があり、5カ月の機能停止期間が発生する。(勤労者センター) △	・サンヒル柏原の改修→堅下合同会館の移転→図書館の新築の順番となるため、市民文化センターの運用を2026年12月まで継続する必要がある。 ・健康福祉センターの運用は2026年8月までとなる。 ○	・サンヒル柏原の改修とリビエールホールの改修を並行して進める事が出来、市民文化センターの運用は2026年1月までとなる。 ・健康福祉センターの運用は2026年8月までとなる。 ◎
	アクセシビリティ ※再編後、各施設への移動時間が増加した人口が全人口に占める割合で評価する。 増加人口5割以上 × 増加人口3~5割未満 △ 増加人口3割未満 ○	子育て支援機能 : ○ (約2~3割) 健診・検診機能 : × (約6~7割) 貸館機能 : ○ (約2~3割) 老人福祉センター : △ (約5割) 図書館機能 : ○ (約1割) フローラルセンター : ○ (現状維持) → パターン②、③に比べて、特に健診・検診機能の移動時間が増加した人口の割合が多い。 → フローラルセンターについては、現状維持となっている。 △	子育て支援機能 : ○ (約2~3割) 健診・検診機能 : ○ (約2~3割) 貸館機能 : △ (約3~4割) 老人福祉センター : △ (約4割) 図書館機能 : ○ (約2割) フローラルセンター : × (約6~8割) → フローラルセンターへの移動時間が増加した人口の割合が多い。 → その他の機能については、概ね2~4割程度であり、他のパターンと比較するとアクセシビリティは高い。 △	子育て支援機能 : ○ (約2~3割) 健診・検診機能 : ○ (約2~3割) 貸館機能 : ○ (約3~4割) 老人福祉センター : ○ (約4割) 図書館機能 : ○ (約1~4割) フローラルセンター : × (約6~8割) → フローラルセンターへの移動時間が増加した人口の割合が多い。 → パターン②と比べると、図書館機能への移動時間増加の割合がやや高い。 ◎
	跡地活用	<活用可能な跡地> ・市民文化センター跡地 ・老人福祉センター ・堅下合同会館 △	<活用可能な跡地> ・市民文化センター跡地 ・老人福祉センター ・かしわらはぐくみっこセンター、旧ハローワーク ○	<活用可能な跡地> ・市民文化センター跡地 ・老人福祉センター ・堅下合同会館 ・かしわらはぐくみっこセンター、旧ハローワーク ○
	駐車場台数	<図書館・貸館機能の駐車場台数> 新設複合施設 (図書館・貸館機能) : 38台 ○	<図書館・貸館機能の駐車場台数> サンヒル柏原 (貸館機能) : 25台 (+50台) 新設図書館 (図書館) : 7台 ○	<図書館・貸館機能の駐車場台数> サンヒル柏原 (貸館機能) : 25台 (+50台) △ リビエールホール (図書館) : 130台 (市役所用駐車場) ◎
	まちづくりとの関連性	<都市計画マスタープラン (整備方針との整合)> ・柏原駅東地区の活性化 ○ ・大和川河川空間のオープン化 △ ○	<都市計画マスタープラン (整備方針との整合)> ・柏原駅東地区の活性化 ○ ・大和川河川空間のオープン化 △ ○	<都市計画マスタープラン (整備方針との整合)> ・柏原駅東地区の活性化 ○ ・大和川河川空間のオープン化 ○ ◎